

自覺を要する
棉作根本義

(中)

経済使節一行は、去月二十六日

出発しての後、二派に分れ、一はミ

シス州、一はバイア州を訪問して

三日にリオ府に歸り、四日より

十日まで打合せ會を開き、十八日

に見合したる處を、各々専門の立

場から意見を述べ、團としての意

思及び態度を決める所であるので

が、併し平生團長が到る處に於

て述べてある如く、例へば

生産量を安くあげ、そして品質優

良な物を市場に出すやうにせられ

ばならないが、それと同時に、販

売の商取引は困難であると應はれ

ばなるまい。

三

勿論、貰う人達から云へば被段

高さ云ふのであるから、先づ

在伯の我々としては、出来るだけ

裕にして、品質が良くて販段

廉いなら二十萬俵でも三十萬俵で

買ふことを云ふのであるが、

現はるかに、今後の實行

に依つて知るの外はあるまい。

二

が、併し平生團長が到る處に於

て述べてある如く、例へば

生産量を安くあげ、そして品質優

良な物を市場に出すやうにせられ

ばならないが、それと同時に、販

売の商取引は困難であると應はれ

ばなるまい。

三

勿論、貰う人達から云へば被段

高さ云ふのであるから、先づ

在伯の我々としては、出来るだけ

裕にして、品質が良くて販段

廉いなら二十萬俵でも三十萬俵で

買ふことを云ふのであるが、

現はるかに、今後の實行

に依つて知るの外はあるまい。

二

が、併し平生團長が到る處に於

て述べてある如く、例へば

生産量を安くあげ、そして品質優

良な物を市場に出すやうにせられ

ばならないが、それと同時に、販

売の商取引は困難であると應はれ

ばなるまい。

三

勿論、貰う人達から云へば被段

高さ云ふのであるから、先づ

在伯の我々としては、出来るだけ

裕にして、品質が良くて販段

廉いなら二十萬俵でも三十萬俵で

買ふことを云ふのであるが、

現はるかに、今後の實行

に依つて知るの外はあるまい。

二

が、併し平生團長が到る處に於

て述べてある如く、例へば

生産量を安くあげ、そして品質優

良な物を市場に出すやうにせられ

ばならないが、それと同時に、販

売の商取引は困難であると應はれ

ばなるまい。

三

勿論、貰う人達から云へば被段

高さ云ふのであるから、先づ

在伯の我々としては、出来るだけ

裕にして、品質が良くて販段

廉いなら二十萬俵でも三十萬俵で

買ふことを云ふのであるが、

現はるかに、今後の實行

に依つて知るの外はあるまい。

二

が、併し平生團長が到る處に於

て述べてある如く、例へば

生産量を安くあげ、そして品質優

良な物を市場に出すやうにせられ

ばならないが、それと同時に、販

売の商取引は困難であると應はれ

ばなるまい。

三

勿論、貰う人達から云へば被段

高さ云ふのであるから、先づ

在伯の我々としては、出来るだけ

裕にして、品質が良くて販段

廉いなら二十萬俵でも三十萬俵で

買ふことを云ふのであるが、

現はるかに、今後の實行

に依つて知るの外はあるまい。

二

が、併し平生團長が到る處に於

て述べてある如く、例へば

生産量を安くあげ、そして品質優

良な物を市場に出すやうにせられ

ばならないが、それと同時に、販

売の商取引は困難であると應はれ

ばなるまい。

三

勿論、貰う人達から云へば被段

高さ云ふのであるから、先づ

在伯の我々としては、出来るだけ

裕にして、品質が良くて販段

廉いなら二十萬俵でも三十萬俵で

買ふことを云ふのであるが、

現はるかに、今後の實行

に依つて知るの外はあるまい。

二

が、併し平生團長が到る處に於

て述べてある如く、例へば

生産量を安くあげ、そして品質優

良な物を市場に出すやうにせられ

ばならないが、それと同時に、販

売の商取引は困難であると應はれ

ばなるまい。

三

勿論、貰う人達から云へば被段

高さ云ふのであるから、先づ

在伯の我々としては、出来るだけ

裕にして、品質が良くて販段

廉いなら二十萬俵でも三十萬俵で

買ふことを云ふのであるが、

現はるかに、今後の實行

に依つて知るの外はあるまい。

二

が、併し平生團長が到る處に於

て述べてある如く、例へば

生産量を安くあげ、そして品質優

良な物を市場に出すやうにせられ

ばならないが、それと同時に、販

売の商取引は困難であると應はれ

ばなるまい。

三

勿論、貰う人達から云へば被段

高さ云ふのであるから、先づ

在伯の我々としては、出来るだけ

裕にして、品質が良くて販段

廉いなら二十萬俵でも三十萬俵で

買ふことを云ふのであるが、

現はるかに、今後の實行

に依つて知るの外はあるまい。

二

が、併し平生團長が到る處に於

て述べてある如く、例へば

生産量を安くあげ、そして品質優

良な物を市場に出すやうにせられ

ばならないが、それと同時に、販

売の商取引は困難であると應はれ

ばなるまい。

三

勿論、貰う人達から云へば被段

高さ云ふのであるから、先づ

在伯の我々としては、出来るだけ

裕にして、品質が良くて販段

廉いなら二十萬俵でも三十萬俵で

買ふことを云ふのであるが、

現はるかに、今後の實行

に依つて知るの外はあるまい。

二

が、併し平生團長が到る處に於

て述べてある如く、例へば

生産量を安くあげ、そして品質優

良な物を市場に出すやうにせられ

ばならないが、それと同時に、販

売の商取引は困難であると應はれ

ばなるまい。

三

勿論、貰う人達から云へば被段

高さ云ふのであるから、先づ

對米伯爲替の下落て 紹興珈琲軟調續く

輸入商四苦八苦

紹育よりの報導(一月)に依るに、
對米伯爲替は同地の珈琲市場
に直ちに反映し、連日珈琲の下落
を見せてゐるが、同國では市場と
う制に極力力を盡してゐるが何
分にも中期收穫の情況が未だ判明
せぬために氣運の形である。
一般に北米關係商は今回の爲替變
動でサントス品十六万至二十二ボ
イント・オ品について三月至九
月の影響を恐れ極力警戒してゐ
が、需要の減少も近日目立ち、同
市場に惡材料が相次ぎ出でて來
てこれもさ珈琲業者の憂慮の利害な
ものであつた。

引されてゐる

其他本州アベス、カスター等も產し非觀察され
度しことくア、油化等も產し非觀察され

せぬために氣運の形である。

一般に北米關係商は今回の爲替變

動でサントス品十六万至二十二ボ

イント・オ品について三月至九

月の影響を恐れ極力警戒してゐ

が、需要の減少も近日目立ち、同

市場に惡材料が相次ぎ出でて來

てこれもさ珈琲業者の憂慮の利害な
ものであつた。

引されてゐる

其他本州アベス、カスター等も產し非觀察され

度しことくア、油化等も產し非觀察され

せぬために氣運の形である。

一般に北米關係商は今回の爲替變

動でサントス品十六万至二十二ボ

イント・オ品について三月至九

月の影響を恐れ極力警戒してゐ

が、需要の減少も近日目立ち、同

市場に惡材料が相次ぎ出でて來

てこれもさ珈琲業者の憂慮の利害な
ものであつた。

引されてゐる

其他本州アベス、カスター等も產し非觀察され

度しことくア、油化等も產し非觀察され

せぬために氣運の形である。

一般に北米關係商は今回の爲替變

動でサントス品十六万至二十二ボ

イント・オ品について三月至九

月の影響を恐れ極力警戒してゐ

が、需要の減少も近日目立ち、同

市場に惡材料が相次ぎ出でて來

てこれもさ珈琲業者の憂慮の利害な
ものであつた。

引されてゐる

其他本州アベス、カスター等も產し非觀察され

度しことくア、油化等も產し非觀察され

せぬために氣運の形である。

一般に北米關係商は今回の爲替變

動でサントス品十六万至二十二ボ

イント・オ品について三月至九

月の影響を恐れ極力警戒してゐ

が、需要の減少も近日目立ち、同

市場に惡材料が相次ぎ出でて來

てこれもさ珈琲業者の憂慮の利害な
ものであつた。

引されてゐる

其他本州アベス、カスター等も產し非觀察され

度しことくア、油化等も產し非觀察され

せぬために氣運の形である。

一般に北米關係商は今回の爲替變

動でサントス品十六万至二十二ボ

イント・オ品について三月至九

月の影響を恐れ極力警戒してゐ

が、需要の減少も近日目立ち、同

市場に惡材料が相次ぎ出でて來

てこれもさ珈琲業者の憂慮の利害な
ものであつた。

個人證券の非常時對策

伊國の國家統制

伊國の國家統制

佛國の珈琲

佛國の珈琲

△適應症
急性慢性レウマチ痛、骨及關節痛
腫物、打撲傷等の筋痛に特効あり
△用法
痛むところに適宜の分量を充分に
すり込むなり、効力は速時に生ず
る事請合

不時の用意に必ず一ビンを御用意あれ

△各地主要薬店にて販賣す

スーガ者人殺

トーワホ★
作シニエウス
譯夫文城水



學藝欄

★文藝、美術、音樂等各般に亘る書籍
★取扱は編集部一任 ★原稿の返戻
保管の責に任じませぬ

の人が悪口を吐くと又一聲聞に

た。彈丸は前方の壁に吹込んだ。

一人が悪口を吐くと死ぬ事は

死ぬ方がまだ。然し……

解つてゐるわよ。彼女は彼の首

を両手で抱きながら言つた。

黄方は妻のことな心配してゐ

る。しかし娘はないわ。貴方が死

なら妾も一緒に死ねわ。降伏な

い。黄方は妻のことを死んで

ないでね。

一天使のやうにね?

一人の探偵は椅子を下りて行つた。

後援を頼みに行つたに違ひない。

ガースは寝室に戻つて、すばやく

洋服を着た。迷彩服を脱ぎた。

聖棉收穫豫想を裏切り 量、質共に低下

— 棉作者に痛い言葉 —

アルゴン説登頭目に左の如き本年棉花に就いての説明があつた。参考の點もあらうと思つたので要請した。

本長年の聖棉收穫開始は天候の影響であつて例年比約一ヶ月遅れた模様であるが收穫は順調に進んで行つてこの分ならば本月の終りまでにはかたがつく想である。

採取前には悪い雨が降り積み度はずれの寒さなど襲つて相當の被害を與へられたやうであるが早種の採取取扱いの四月から天候はよくなつて自下はオーマンによい最も恐れられたのはマサニの落ちる事でこれが三月の終りから四月の始めにかけて成り割合の農村を脅威せしめた。

聖市商店引附に於て一九三四年採收棉格付が四月廿日より一月半弱の減少であるとの上品も八百五十九年八十七石に達した。昨年の同期九百五十万石であるから、棉作者の注意ある人も解かります。

聖市商店引附に於て一九三五年採收棉格付が四月廿日より一月半弱の減少であるとの上品も八百五十九年八十七石に達した。昨年の同期九百五十万石であるから、棉作者の注意ある人も解かります。

××經濟使節と共に××(1)牧

デ・フォラ
市 の 歓迎

山水明媚のミナスを行く
（1）牧

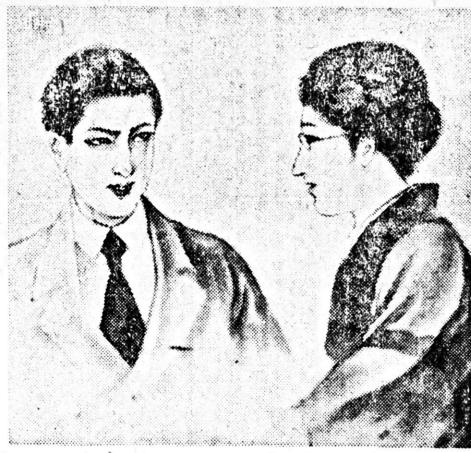
（2）牧
（3）牧
（4）牧
（5）牧
（6）牧
（7）牧
（8）牧
（9）牧
（10）牧
（11）牧
（12）牧
（13）牧
（14）牧
（15）牧
（16）牧
（17）牧
（18）牧
（19）牧
（20）牧
（21）牧
（22）牧
（23）牧
（24）牧
（25）牧
（26）牧
（27）牧
（28）牧
（29）牧
（30）牧
（31）牧
（32）牧
（33）牧
（34）牧
（35）牧
（36）牧
（37）牧
（38）牧
（39）牧
（40）牧
（41）牧
（42）牧
（43）牧
（44）牧
（45）牧
（46）牧
（47）牧
（48）牧
（49）牧
（50）牧
（51）牧
（52）牧
（53）牧
（54）牧
（55）牧
（56）牧
（57）牧
（58）牧
（59）牧
（60）牧
（61）牧
（62）牧
（63）牧
（64）牧
（65）牧
（66）牧
（67）牧
（68）牧
（69）牧
（70）牧
（71）牧
（72）牧
（73）牧
（74）牧
（75）牧
（76）牧
（77）牧
（78）牧
（79）牧
（80）牧
（81）牧
（82）牧
（83）牧
（84）牧
（85）牧
（86）牧
（87）牧
（88）牧
（89）牧
（90）牧
（91）牧
（92）牧
（93）牧
（94）牧
（95）牧
（96）牧
（97）牧
（98）牧
（99）牧
（100）牧
（101）牧
（102）牧
（103）牧
（104）牧
（105）牧
（106）牧
（107）牧
（108）牧
（109）牧
（110）牧
（111）牧
（112）牧
（113）牧
（114）牧
（115）牧
（116）牧
（117）牧
（118）牧
（119）牧
（120）牧
（121）牧
（122）牧
（123）牧
（124）牧
（125）牧
（126）牧
（127）牧
（128）牧
（129）牧
（130）牧
（131）牧
（132）牧
（133）牧
（134）牧
（135）牧
（136）牧
（137）牧
（138）牧
（139）牧
（140）牧
（141）牧
（142）牧
（143）牧
（144）牧
（145）牧
（146）牧
（147）牧
（148）牧
（149）牧
（150）牧
（151）牧
（152）牧
（153）牧
（154）牧
（155）牧
（156）牧
（157）牧
（158）牧
（159）牧
（160）牧
（161）牧
（162）牧
（163）牧
（164）牧
（165）牧
（166）牧
（167）牧
（168）牧
（169）牧
（170）牧
（171）牧
（172）牧
（173）牧
（174）牧
（175）牧
（176）牧
（177）牧
（178）牧
（179）牧
（180）牧
（181）牧
（182）牧
（183）牧
（184）牧
（185）牧
（186）牧
（187）牧
（188）牧
（189）牧
（190）牧
（191）牧
（192）牧
（193）牧
（194）牧
（195）牧
（196）牧
（197）牧
（198）牧
（199）牧
（200）牧
（201）牧
（202）牧
（203）牧
（204）牧
（205）牧
（206）牧
（207）牧
（208）牧
（209）牧
（210）牧
（211）牧
（212）牧
（213）牧
（214）牧
（215）牧
（216）牧
（217）牧
（218）牧
（219）牧
（220）牧
（221）牧
（222）牧
（223）牧
（224）牧
（225）牧
（226）牧
（227）牧
（228）牧
（229）牧
（230）牧
（231）牧
（232）牧
（233）牧
（234）牧
（235）牧
（236）牧
（237）牧
（238）牧
（239）牧
（240）牧
（241）牧
（242）牧
（243）牧
（244）牧
（245）牧
（246）牧
（247）牧
（248）牧
（249）牧
（250）牧
（251）牧
（252）牧
（253）牧
（254）牧
（255）牧
（256）牧
（257）牧
（258）牧
（259）牧
（260）牧
（261）牧
（262）牧
（263）牧
（264）牧
（265）牧
（266）牧
（267）牧
（268）牧
（269）牧
（270）牧
（271）牧
（272）牧
（273）牧
（274）牧
（275）牧
（276）牧
（277）牧
（278）牧
（279）牧
（280）牧
（281）牧
（282）牧
（283）牧
（284）牧
（285）牧
（286）牧
（287）牧
（288）牧
（289）牧
（290）牧
（291）牧
（292）牧
（293）牧
（294）牧
（295）牧
（296）牧
（297）牧
（298）牧
（299）牧
（300）牧
（301）牧
（302）牧
（303）牧
（304）牧
（305）牧
（306）牧
（307）牧
（308）牧
（309）牧
（310）牧
（311）牧
（312）牧
（313）牧
（314）牧
（315）牧
（316）牧
（317）牧
（318）牧
（319）牧
（320）牧
（321）牧
（322）牧
（323）牧
（324）牧
（325）牧
（326）牧
（327）牧
（328）牧
（329）牧
（330）牧
（331）牧
（332）牧
（333）牧
（334）牧
（335）牧
（336）牧
（337）牧
（338）牧
（339）牧
（340）牧
（341）牧
（342）牧
（343）牧
（344）牧
（345）牧
（346）牧
（347）牧
（348）牧
（349）牧
（350）牧
（351）牧
（352）牧
（353）牧
（354）牧
（355）牧
（356）牧
（357）牧
（358）牧
（359）牧
（360）牧
（361）牧
（362）牧
（363）牧
（364）牧
（365）牧
（366）牧
（367）牧
（368）牧
（369）牧
（370）牧
（371）牧
（372）牧
（373）牧
（374）牧
（375）牧
（376）牧
（377）牧
（378）牧
（379）牧
（380）牧
（381）牧
（382）牧
（383）牧
（384）牧
（385）牧
（386）牧
（387）牧
（388）牧
（389）牧
（390）牧
（391）牧
（392）牧
（393）牧
（394）牧
（395）牧
（396）牧
（397）牧
（398）牧
（399）牧
（400）牧
（401）牧
（402）牧
（403）牧
（404）牧
（405）牧
（406）牧
（407）牧
（408）牧
（409）牧
（410）牧
（411）牧
（412）牧
（413）牧
（414）牧
（415）牧
（416）牧
（417）牧
（418）牧
（419）牧
（420）牧
（421）牧
（422）牧
（423）牧
（424）牧
（425）牧
（426）牧
（427）牧
（428）牧
（429）牧
（430）牧
（431）牧
（432）牧
（433）牧
（434）牧
（435）牧
（436）牧
（437）牧
（438）牧
（439）牧
（440）牧
（441）牧
（442）牧
（443）牧
（444）牧
（445）牧
（446）牧
（447）牧
（448）牧
（449）牧
（450）牧
（451）牧
（452）牧
（453）牧
（454）牧
（455）牧
（456）牧
（457）牧
（458）牧
（459）牧
（460）牧
（461）牧
（462）牧
（463）牧
（464）牧
（465）牧
（466）牧
（467）牧
（468）牧
（469）牧
（470）牧
（471）牧
（472）牧
（473）牧
（474）牧
（475）牧
（476）牧
（477）牧
（478）牧
（479）牧
（480）牧
（481）牧
（482）牧
（483）牧
（484）牧
（485）牧
（486）牧
（487）牧
（488）牧
（489）牧
（490）牧
（491）牧
（492）牧
（493）牧
（494）牧
（495）牧
（496）牧
（497）牧
（498）牧
（499）牧
（500）牧
（501）牧
（502）牧
（503）牧
（504）牧
（505）牧
（506）牧
（507）牧
（508）牧
（509）牧
（510）牧
（511）牧
（512）牧
（513）牧
（514）牧
（515）牧
（516）牧
（517）牧
（518）牧
（519）牧
（520）牧
（521）牧
（522）牧
（523）牧
（524）牧
（525）牧
（526）牧
（527）牧
（528）牧
（529）牧
（530）牧
（531）牧
（532）牧
（533）牧
（534）牧
（535）牧
（536）牧
（537）牧
（538）牧
（539）牧
（540）牧
（541）牧
（542）牧
（543）牧
（544）牧
（545）牧
（546）牧
（547）牧
（548）牧
（549）牧
（550）牧
（551）牧
（552）牧
（553）牧
（554）牧
（555）牧
（556）牧
（557）牧
（558）牧
（559）牧
（560）牧
（561）牧
（562）牧
（563）牧
（564）牧
（565）牧
（566）牧
（567）牧
（568）牧
（569）牧
（570）牧
（571）牧
（572）牧
（573）牧
（574）牧
（575）牧
（576）牧
（577）牧
（578）牧
（579）牧
（580）牧
（581）牧
（582）牧
（583）牧
（584）牧
（585）牧
（586）牧
（587）牧
（588）牧
（589）牧
（590）牧
（591）牧
（592）牧
（593）牧
（594）牧
（595）牧
（596）牧
（597）牧
（598）牧
（599）牧
（600）牧
（601）牧
（602）牧
（603）牧
（604）牧
（605）牧
（606）牧
（607）牧
（608）牧
（609）牧
（610）牧
（611）牧
（612）牧
（613）牧
（614）牧
（615）牧
（616）牧
（617）牧
（618）牧
（619）牧
（620）牧
（621）牧
（622）牧
（623）牧
（624）牧
（625）牧
（626）牧
（627）牧
（628）牧
（629）牧
（630）牧
（631）牧
（632）牧
（633）牧
（634）牧
（635）牧
（636）牧
（637）牧
（638）牧
（639）牧
（640）牧
（641）牧
（642）牧
（643）牧
（644）牧
（645）牧
（646）牧
（647）牧
（648）牧
（649）牧
（650）牧
（651）牧
（652）牧
（653）牧
（654）牧
（655）牧
（656）牧
（657）牧
（658）牧
（659）牧
（660）牧
（661）牧
（662）牧
（663）牧
（664）牧
（665）牧
（666）牧
（667）牧
（668）牧
（669）牧
（670）牧
（671）牧
（672）牧
（673）牧
（674）牧
（675）牧
（676）牧
（677）牧
（678）牧
（679）牧
（680）牧
（681）牧
（682）牧
（683）牧
（684）牧
（685）牧
（686）牧
（687）牧
（688）牧
（689）牧
（690）牧
（691）牧
（692）牧
（693）牧
（694）牧
（695）牧
（696）牧
（697）牧
（698）牧
（699）牧
（700）牧
（701）牧
（702）牧
（703）牧
（704）牧
（705）牧
（706）牧
（707）牧
（708）牧
（709）牧
（710）牧
（711）牧
（712）牧
（713）牧
（714）牧
（715）牧
（716）牧
（717）牧
（718）牧
（719）牧
（720）牧
（721）牧
（722）牧
（723）牧
（724）牧
（725）牧
（726）牧
（727）牧
（728）牧
（729）牧
（730）牧
（731）牧
（732）牧
（733）牧
（734）牧
（735）牧
（736）牧
（737）牧
（738）牧
（739）牧
（740）牧
（741）牧
（742）牧
（743）牧
（744）牧
（745）牧
（746）牧
（747）牧
（748）牧
（749）牧
（750）牧
（751）牧
（752）牧
（753）牧
（754）牧
（755）牧
（756）牧
（757）牧
（758）牧
（759）牧
（760）牧
（761）牧
（762）牧
（763）牧
（764）牧
（765）牧
（766）牧
（767）牧
（768）牧
（769）牧
（770）牧
（771）牧
（772）牧
（773）牧
（774）牧
（775）牧
（776）牧
（777）牧
（778）牧
（779）牧
（780）牧
（781）牧
（782）牧
（783）牧
（784）牧
（785）牧
（786）牧
（787）牧
（788）牧
（789）牧
（790）牧
（791）牧
（792）牧
（793）牧
（794）牧
（795）牧
（796）牧
（797）牧
（798）牧
（799）牧
（800）牧
（801）牧
（802）牧
（803）牧
（804）牧
（805）牧
（806）牧
（807）牧
（808）牧
（809）牧
（810）牧
（811）牧
（812）牧
（813）牧
（814）牧
（815）牧
（816）牧
（817）牧
（818）牧
（819）牧
（820）牧
（821）牧
（822）牧
（823）牧
（824）牧
（825）牧
（826）牧
（827）牧
（828）牧
（829）牧
（830）牧
（831）牧
（832）牧
（833）牧
（834）牧
（835）牧
（836）牧
（837）牧
（838）牧
（839）牧
（840）牧
（841）牧
（842）牧
（843）牧
（844）牧
（845）牧
（846）牧
（847）牧
（848）牧
（849）牧
（850）牧
（851）牧
（852）牧
（853）牧
（854）牧
（855）牧
（856）牧
（857）牧
（858）牧
（859）牧
（860）牧
（861）牧
（862）牧
（863）牧
（864）牧
（865）牧
（866）牧
（867）牧
（868）牧
（869）牧
（870）牧
（871）牧
（872）牧
（873）牧
（874）牧
（875）牧
（876）牧
（877）牧
（878）牧
（879）牧
（880）牧
（881）牧
（882）



探偵小説

金髮魔

(松村彦秀書)



【百廿三】

松月刀自は、洋吉に紹介した。なる程琴の師匠といへば、大抵は盲目である。この一事は豫想外ではなくて、洋吉の想像が行届かなかつたのであつた。

そこへまた一人、竹林の方の戻戸に、衣すれの音がして、静かに入つて來る女性がある。刀自はまた紹介した。

「これは多田一と申しまして、不束ながら此處を經營する所を教へて居ります」

洋吉も「さう怪しまれやう、母の松月刀自もまた、異様な眼

第二世育



幼兒に「自信力」を植ゑつけること

この訓練をするとなしとが

長にして勝敗の岐れ

長

として優秀なものなし得

アラクルの邦人移民が廿五年を経て見ること、第一世

約四半世紀に亘つて汗と血で築き上げた地歩を誰が

受け継ぐか茲に第二世の問題が重要性を帯びて来る

而して第二世を如何に訓練すれば優秀なものなし得

アラクルの邦人移民が廿五年を経て見ること、第一世

約四半世紀に亘つて汗と血で築き上げた地歩を誰が

受け継ぐか茲に第二世の問題が重要性を帯びて来る

一日酔の手當

酒の場でつい獎められて飲む、

うした場合二日酔と云つて、飲んで

止むもので、こんな時には先

づけ難いがアルコール分の吸

取を妨げるのが第一番です、日本

で怖い食べるさまのものア

ルコールの吸収を妨げるからです

苦しむものです。

た後で非常に不便な氣持を能し

ます。

つづけ難いがアルコール分の吸

取を妨げるのが第一番です、日本

で怖い食べるさまのものア

ルコールの吸収を妨げるからです

苦しむものです。

た後で非常に不便な氣持を能し

ます。